

有限会社平塚商会

平成 25 年度 補正予算事業

本県伝統工芸品「切子」と鯖江産地の眼鏡フレームとのコラボによる 富裕層対象の眼鏡フレーム開発と販売

世界的にも名高い福井県鯖江の眼鏡フレームと、本県の伝統工芸品「切子」を融合させた新しい商品を作り、売上に伸び悩む当社の起爆剤とする。日本独自の工芸品の美しさと安定感を持ち合わせた新しい眼鏡フレームを世界中の富裕層、文化知識層へ直接販売する。



さりげなく ふるさとあい
鹿児島愛

眼鏡切子®

さりげなく 鹿児島愛

事業のきっかけや目的

Motivation

人口減少、後継者問題、大手チェーン店進出で苦境に立たされる小規模眼鏡店として、販売領域の拡大、新ターゲットの創造、新しい販売形態の構築を模索してきた。福井県鯖江の眼鏡職人と連携し、鹿児島県の伝統工芸品「切子」を使った眼鏡フレームの試作に取り組み、実用新案権を取得。文化人や富裕層をターゲットに直売を行い、業界活性化と地域貢献に寄与する。

事業の取り組み内容と成果

Progress

柔軟性に富むβチタンと、軽量かつ強度・耐久性に優れた純チタンの組み合わせによって、安定性と強度を備え、装着によって切子にかかる負荷を最小限にした。また、鹿児島の切子独自カット技術を縦4mm、横18mmという限られたスペースで活かすため、幾種類ものカットの中から2種類を厳選。切子の光沢と繊細さが十分に発揮できた試作品が仕上がった。

有限会社平塚商会の思い



本県伝統工芸品「切子」と世界的にも名高い眼鏡フレーム産地福井県鯖江のフレームを融合させた当社オリジナル商品「眼鏡切子」。美しさと安定感を持ち合わせた新商品を、当社の地元鹿児島から繊細な日本製の良さを国内外に広めていきたいと考えています。



小さな切子に魂を刻む



作業風景



眼鏡切子 粋

事業化に向けての今後の取り組み

Future

現在、東京日本橋三越本店・名古屋松坂屋・京都大丸・鹿児島山形屋など有名百貨店を皮切りに国内眼鏡専門店での販売を開始している。また、広島福屋百貨店・福岡天神三越の取扱店調整も進行中。今後はシンガポール・台湾・韓国・中国などの販売開始も視野に入れている。商品展開は、眼鏡切子「輝」を発売中。本年10月には眼鏡切子「和」と鼈甲とのコラボフレーム眼鏡切子「穂」を発売予定である。



企業の生い立ち

昭和44年、外商販売にて車一台で販売開始。同年9月売場面積4坪の店舗営業に展開。昭和45年法人化し店舗面積を25坪に移転拡大。平成19年平塚商会代表取締役役に就任。平成25年眼鏡狂句事業部・眼鏡切子事業部を発足。事業拡大、2つの商標登録と1つの実用新案を取得し現在に至る。



店舗写真

事業者	有限会社平塚商会
代表者	平塚 顕一郎
設立年月日	昭和44年3月14日
所在地等	〒890-0046 鹿児島市西田2-7-21 朝稲ビル1F TEL 099-254-8640 FAX 099-255-5714 E-mail meganenofuji@ymt.bbq.jp URL http://www.meganenofuji.com
事業の種類	ものづくり技術
資本金額	500万円
従業員数	2名
業種	眼鏡小売・卸・製造業